

衛生研究所WEBページ情報

(アクセス件数・順位 平成23年5月分、電子メールによる問い合わせ・追加・更新記事 平成23年6月分)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

今回は、平成23年5月のアクセス件数、アクセス順位及び平成23年6月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については総務局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (平成23年5月)

平成23年5月の総アクセス数は、256,370件でした。主な内訳は、感染症68.6%、食品衛生10.0%、保健情報7.1%、検査情報月報4.7%、生活環境衛生2.3%、薬事1.0%でした。

(2) アクセス順位 (平成23年5月)

5月のアクセス順位(表1)は、第1位が「髄膜炎菌性髄膜炎」、第2位が「マイコプラズマ肺炎について」、第3位が「衛生研究所トップページ」でした。

第1位は「髄膜炎菌性髄膜炎」でした。これは、宮崎県が、5月17日に宮崎県小林市の高校1年生の男子が、髄膜炎菌性髄膜炎のため、5月13日に死亡した疑いがあると記者発表したことを受け、この報道がYAHOOのトップニュースに取り上げられ、そこから当所の「髄膜炎菌性髄膜炎のWEBページ」へリンクされていたためアクセス件数が増えたものと思われる。

髄膜炎菌による髄膜炎を、髄膜炎菌性髄膜炎といい、大規模な流行性の髄膜炎の起原菌であることから、以前は「流行性脳脊髄膜炎(または流行性髄膜炎)」と呼ばれ、旧・伝染病予防法の下では法定伝染病の一つでした。

第2位の「マイコプラズマ肺炎について」は、年間を通じて常にアクセス件数が多く、毎月上位にランクインしています。国立感染症情報センターの報告によりますと、マイコプラズマの定点当たり報告数は、第19週(5月9日～5月15日)以降、4週間連続で増加しています。

第3位は、「衛生研究所トップページ」、第4位は、「ポリオ(小児麻痺・急性灰白髄炎)について」でした。

第5位に「アデノウイルス感染症について」が入りました。

表1 平成23年5月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	髄膜炎菌性髄膜炎	57,083
2	マイコプラズマ肺炎について	6,615
3	衛生研究所トップページ	4,667
4	ポリオ(小児麻痺・急性灰白髄炎)について	4,649
5	アデノウイルス感染症について	3,487
6	B群レンサ球菌(GBS)感染症について	2,818
7	ぎょう虫(蟯虫)症について	2,759
8	ロタウイルスによる感染性胃腸炎について	2,648
9	横浜市感染症情報センター	2,550
10	サイトメガロウイルス感染症について	2,493

データ提供:総務局IT活用推進課

第7位の「ぎょう虫(蟯虫)症について」は、学校保健安全法に基づいて幼稚園児及び小学校低学年対象に実施されるぎょう虫検査(セロハンテープ法)の時期のため、アクセス件数が増加したものと考えられます。

(3) 電子メールによる問い合わせ (平成23年6月)

平成23年6月の問い合わせは、5件でした(表2)。

表2 平成23年6月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
リステリア症について	1	感染症・疫学情報課
ノロウイルスWEB情報の複写許諾について	1	感染症・疫学情報課
食品苦情検査「餃子中の異物」記事の転載許諾について	1	感染症・疫学情報課 (検査研究課に確認後)
梅毒について	1	感染症・疫学情報課
当所ホームページとの相互リンクについて	1	感染症・疫学情報課

2 追加・更新記事 (平成23年6月)

平成23年6月に追加・更新した主な記事は、1件でした(表3)。

表3 平成23年6月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
6月 6日	感染症に気をつけよう(6月号)	追加

【 感染症・疫学情報課 】